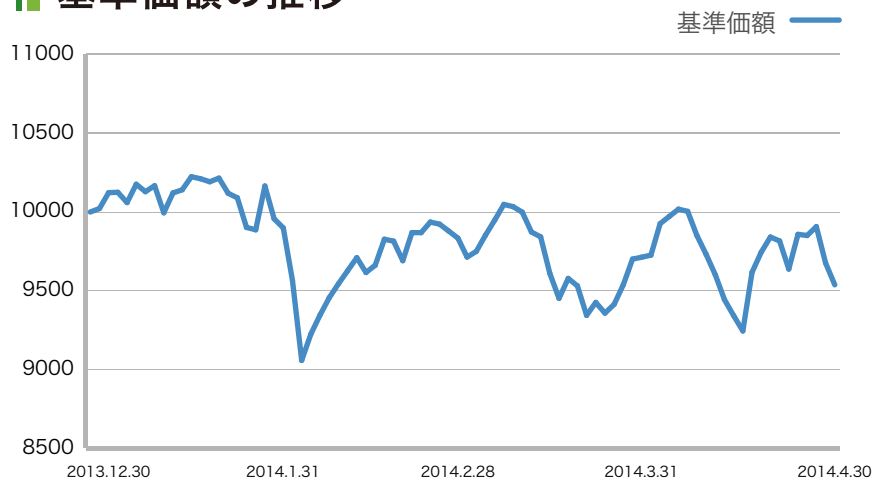




基準日 2014 年 4 月 30 日付

基準価額の推移



分配金

初回決算未到来のため、分配金の実績はございません。

なお、初回決算は2014年12月18日の予定です。

ファンドのデータ

基準価額	9,538円
純資産総額	670百万円
受益権総口数	703百万口
顧客数	603人

ポートフォリオの構成比 (マザーファンド)

	当月末	前月末比
株式等	90.0%	▲7.6%
現金等	10.0%	+7.6%
構成銘柄	50社	±0社

基準価額の騰落率

1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	年初来	設定来
▲1.80%	▲3.65%			▲5.78%	▲4.62%

運用の特色

①5～10年の中期的な視点で【変化】を捉えます

”変化し始めた企業”、”変化にチャレンジする企業”を中心に株価が割安と判断した企業に投資をします。

②50銘柄程度に厳選投資を行います

当ファンドでは50銘柄程度に厳選投資を行います。大型株から小型株までを投資対象とします。

一方で、50銘柄程度あれば分散効果も十分得られると考えています。

※ボトムアップ・アプローチを重視し、ベンチマークは設けません。

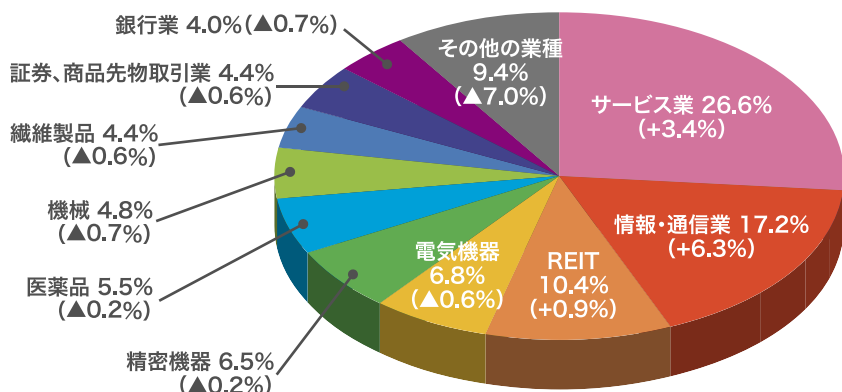
③収益を狙うタイミングと、リスクを回避するタイミングをコントロールします

市場の下落リスクなどに基づき、株式組入比率を上げて積極的に収益を狙うタイミングと、現金等の比率を上げてリスクを回避するタイミングをコントロールすることを目指します。

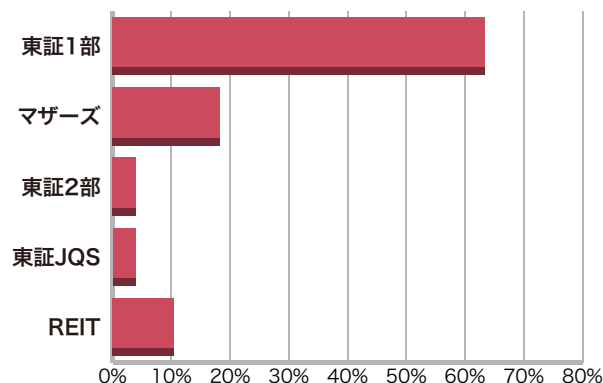
※株式への投資は、信託財産の50%超(100%～30%の範囲内)を基本とします。

基準日 2014年4月30日付

業種別構成比 ()内は前月比



市場別構成比



- 比率は組入価証券を100%として計算しております。
- 比率は四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。
- 業種については東証33分類に基づいて記載しております。

組入上位5社

(2014年3月31日現在)

企業名	市場	業種	比率
CYBERDYNE	マザーズ	精密機器	4.8%
三井住友	東証1部	銀行業	4.6%
ペプチドリーム	マザーズ	医薬品	4.5%
日本アコモデーションファンド投資法人	東証	REIT	3.6%
レオパレス21	東証1部	不動産業	3.4%

- 組入上位5社については、開示基準日がその他の情報と異なります。
- 業種については東証33分類に基づいて記載しております。
- 比率は純資産総額を100%として計算しております。

組入上位5社の紹介

(2014年3月31日現在)

企業名[コード]	概要
CYBERDYNE [7779]	ロボットスーツHAL(身体機能を改善・補助・拡張することができる、世界初のサイボーグ型ロボット)を医療・介護・福祉分野、労働・重作業分野など人間生活に役立つ領域で展開することを目的として、筑波大学大学院教授が起業した、大学発ベンチャー企業。
三井住友 [8316]	3メガバンクの一角で、銀行業務を中心に、クレジットカード業務、リース業務、情報サービス業務、証券業務などのさまざまな金融サービスにかかわる事業を展開。経営方針は、最高の信頼を得られ世界に通じる金融グループを目指す。
ペプチドリーム [4587]	国内外の大手製薬企業との共同研究開発のもと、医薬品候補物質を創製することを主たる事業とする創薬ベンチャー。2006年7月設立で、独自の創薬開発プラットフォームを活用して、特殊ペプチド医薬に特化した事業を展開。
日本アコモデーション ファンド投資法人 [3226]	東京23区に所在する賃貸住宅を中心に質の高いポートフォリオを構築・運営。対象は、高稼働率を見込めるシングル・コンパクトタイプが中心。三井不動産からの物件の供給や同社グループを介した広範囲な物件情報を通じ、投資機会を獲得。
レオパレス21 [8848]	単身者向けを中心にアパートを建築する「建築請負事業」、建築後のアパートを運営する「賃貸事業」の2つをコア事業とする不動産会社。「賃貸事業」の収益性強化により、収益を安定的に獲得することができるストック型ビジネスモデルの構築を推進中。

- 組入上位5社については、開示基準日がその他の情報と異なります。

市場概況と運用状況

市場環境

4月の日本株は、中国や欧州の景気回復期待に加えて、ウクライナ情勢の安定化期待などにより上昇して始めましたが、日銀追加金融緩和期待の後退などにより大きく下落しました。その後、安倍首相と黒田日銀総裁の会談（15日開催）や麻生財務相のGPIF（年金積立金管理運用独立行政法人）に関する発言などを背景に反発する展開となりました。日経平均は月間▲3.53%の下落、TOPIXは月間▲3.36%の下落となりました。

月初は、中国の景気関連指数の改善や欧州の景気回復期待、ウクライナ情勢の安定化や新興国の景気減速懸念の一服などにより上昇しましたが、8日の日銀金融政策決定会合後の記者会見において、黒田日銀総裁が追加金融緩和を否定する発言で円高が進行したこと、大きく下落しました。中旬は、11日の安倍・黒田会談が4月中に開催されるという報道や、米国株式上昇と円安などにより、上昇して始めました。17日の安倍首相のTPP（環太平洋戦略的経済連携協定）実現に前向きなコメントや、18日の麻生財務相の「GPIFの動きが6月から出てくる」などの発言から日本株投資への拡大を期待して、月初からの下げ幅の約半値戻しを達成しました。下旬は、24日の日米首脳会談でのTPP合意先送りに加え、本格化する決算発表や、30日の日銀金融政策決定会合、FOMCの結果を見極めたいとの見方が台頭し、上値が重たい展開となりました。

指数別で見ると、東証マザーズ指数（▲9.12%）は特に大きく下落したものの、東証2部（▲1.99%）や日経JASDAQ平均（▲2.52%）は小幅な下落に留まりました。TOPIX規模別で見ると、コア30（▲3.76%）が大きく下落しています。業種別株価指数の騰落率上位3位は、鉱業、石油・石炭、空運業。同下位3位は、証券業、海運業、電気・ガス業でした。なお、33業種のうち25業種が下落しました。

投資行動とパフォーマンス

（組入れ比率とその内訳、組入れ銘柄に関しては、マザーファンドについての記載となります）

◎4月のポートフォリオ構成比率

4月末の株式等組入れ比率は90.0%と前月末（3月末97.6%）に対して7.6%ウェイトを引き下げました。残り10%程度はキャッシュを持っています。同組入れ比率の内訳は、国内株式80.6%（前月末比7.7%ウェイト引き下げ）、REIT（不動産投資信託）9.4%となっています。

◎4月の投資行動

純資産総額は、4月末で6億7077万円と、前月末（3月末6億2083万円）に対して4994万円の増加となりました。お客様（受益者）は603名と同比60名の増加となりました。基本的には、資金流入に伴う株式等の買付をしつつ、機動的に株式等組入れ比率を変化させました。具体的には、海外情勢への警戒感が一服し景気回復期待などから株価が上昇した4月2日と3日（日経平均15000円前後）に77%台まで同比率を引き下げ、日銀の追加緩和見送りと米国株安などから株価が下落した4月11日と14日（同13900円前後）にかけて98%台まで引き上げています。株価が反発した4月21日（同14500円台）以降は同比率を若干引き下げています。

◎4月の組入れ銘柄の内訳（構成比率は組入有価証券を100%として計算）

4月末の組入れ銘柄は、前月末と同じ50銘柄となりました。業種別構成比率トップ3は、サービス業26.6%、情報・通信業17.2%、REIT10.4%の順です。市場別構成比率トップ3は、東証1部63.4%、マザーズ18.3%、REIT10.4%です。

◎組入上位5社（1ヶ月遅れの開示のため3月末現在）

3月末の新規トップ5に入った銘柄は、「CYBERDYNE（サイバーダイン）」、「三井住友フィナンシャルグループ」、「レオパレス21」の3社です。圏外になった銘柄は、「ALSOK」、「オリンパス」、「パソナ」の3社です。

◎4月のファンド月間リターン

4月末の基準価額は9538円（3月末9713円）。ファンドの月間リターンは▲1.80%の下落となりました。参考指標として、同月のTOPIXは▲3.36%の下落、日経平均は▲3.53%の下落となっています。また、ファンドの年初来（4か月）リターンは▲5.78%の下落となりました。参考指標として、年初来のTOPIXは▲10.74%の下落、日経平均は▲12.20%の下落となっています。

メディア掲載

日付	掲載メディア	ニュース
4月12日	日本経済新聞	朝刊(マネー&インベストメント面)に主な独立系による投信としてコモンズ30ファンドが取り上げられました。
4月16日	日本経済新聞	朝刊(17面)に運用部長・糸島のコメントが掲載されました。
4月17日	日本経済新聞	夕刊(5面)に運用部長・糸島のコメントが掲載されました。
4月21日	日経マネー6月号	「大手30社の中期経営ビジョンをチェック」(P.55) に、社長・伊井のコメントが掲載されました。
4月28日	日経CNBC	「日経ヴェリターストック」 に会長・渋谷が出演しました。
4月30日	日本証券新聞	コモンズ30ファンドの5周年フォーラムの様子が紹介されました。

セミナー案内

セミナー名	日付	時間	場所
はじめてのコモンズ	5月28日(水)	19:00~21:00	東京都千代田区 (コモンズ・オフィス)
はじめてのコモンズ(ファンド編)	5月10日(土)	14:00~16:00	東京都千代田区 (JR四ツ谷駅 徒歩2分)
5周年イベント	6月7日(土)	14:00~17:00	愛知県名古屋市(栄エリア)
	6月8日(日)	10:00~13:00	大阪府大阪市 (淀屋橋・本町エリア)
くつろぎBAR	5月21日(水)	18:00~20:00	東京都千代田区 (コモンズ・オフィス)
	6月18日(水)	18:00~20:00	
草食投資隊セミナー	5月10日(土)	16:00~18:00	新潟県上越市
	5月20日(火)	19:00~20:45	東京都千代田区
コモンズ30塾 コモンズ30ファンド 投資先企業から学ぶ『アフリカセミナー』	5月29日(木)	19:00~21:00	東京都千代田区 (東京駅丸の内口新丸の内ビルディング)
「資本主義の教養学」公開講演会 第1回『資本主義と渋谷栄一の合本主義』	5月30日(金)	19:00~21:00	東京都文京区 (東京大学本郷キャンパス)

※セミナーの詳細、お申し込みは弊社ウェブサイトまたはコールセンターからお願いいたします。

<http://www.common30.jp/seminar/schedule> 03-3221-8730 (コールセンター、平日午前9時~午後5時受付)

ザ・2020ビジョンの費用について

購入時手数料	販売会社が、別途定める購入申込手数料を申し受ける場合があります。
換金手数料	ありません。
運用管理費 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.242%(消費税込)を上限とした率を乗じて得た額とします。 なお、運用実績における基準価額は、信託報酬控除後のものです。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用 ・ 手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として、純資産総額の0.108%(消費税込)を上限として投資信託財産より控除されます。

※上記の手数料(費用)等の合計額については、保有期間に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。

ザ・2020ビジョンのリスクについて

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客さま(受益者)の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客さま(受益者)に帰属します。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※リスクの要因は、上記に限定されるものではありません。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

お申込みメモ

信託設定日	平成25年12月27日
信託期間	無期限(ただし、ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等には信託期間の途中で信託を終了させることがあります。)
決算日	原則として毎年12月18日(休業日のときは、翌営業日を決算日とします。)
収益分配	毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。当ファンドは分配金再投資専用です。よって、分配金は税金が差引かれた後、自動的に再投資されます。なお、収益の分配に充てなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。
購入単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購入価格	購入申込受付日の基準価額
換金単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金申込受付日の基準価額とします。
換金代金の 支払い開始日	換金申込受付日から起算して5営業日目にお支払いします。
申込締切時間	購入・換金ともに原則毎営業日の午後3時までです。 午後3時を過ぎてのお申込みは、翌営業日のお申込みとして取扱います。

お問い合わせ先

■ コールセンター（受付時間／平日 9時～17時）

03-3221-8730

■ メール

commons-call@commons30.jp

◆本資料は、コモンズ投信が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。◆このレポートは、信頼性が高いと判断された情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通し等は作成日時点のものであり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。◆投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。

金融商品取引業者
関東財務局長(金商)第 2061 号
加入協会 一般社団法人投資信託協会

コモンズ投信株式会社
〒102-0093
東京都千代田区平河町2-4-5 平河町Kビル5階